

あらかお荒炎祭

Tシャツデザイン大募集

あらかお荒炎祭は「4つの炎」をシンボルに市民の皆さんと一緒に作るお祭りです。
お祭りを盛り上げてくれるTシャツを作って、郷土の夏を彩りませんか。応募お待ちしております！

◆デザインイメージ

次のどれかのイメージを題材にしたものとします。

- ①「山の炎」小岱山や陶芸の窯の恵みを象徴
- ②「海の炎」有明海の恵みを象徴
- ③「大地の炎」
石炭産業に貢献した大地の恵みを象徴
- ④「人の情熱の炎」
荒尾が生んだ偉大な人物「宮崎兄弟」を象徴

◆応募方法

- ・荒尾が大好きな人であれば誰でも応募できます。
- ・Tシャツの色はグリーンとブラックの2種類。
- ・デザインはA4の用紙に描いてください。
(パソコンで作成する場合は、作品をJPEG形式でCD-Rに保存してください)
- ・デザインにボカシの技法は使用しないでください。
- ・デザインに使用する色は3色までとします。
(文字やイラストの縁取りに使用する色も含む)
- ・前面に必ず「2018」と「あらかお荒炎祭」の文字を入れてください。
- ・自分で創作した未発表のものに限ります。
- ・応募は1人3点までとします。

◆募集締切 1月31日(水)

◆提出方法 事務局(産業振興課)に備え付けてある申込書か市ホームページに掲載している申込書に必要事項を記入し、デザインを持参するか郵送

◆賞

- ・最優秀賞 1点 5万円とデザイン採用
- ・優秀賞 1点 1万円
- ・特別賞 3点 5千円相当の荒尾特産品
- ・努力賞 最大20点 1千円相当の荒尾特産品

◆その他

- ・応募作品に関する著作権とこれに派生する権利は「あらかお荒炎祭実行委員会」のものになります。
- ・最優秀作品はTシャツデザインで使用するほか、あらかお荒炎祭PR用として幅広く活用します。
(作品を活用する場合、補作・修正する場合があります)
- ・応募作品は返却しません。

◆結果発表

- ・入賞者には2月下旬、郵送で通知します。
- ・広報あらかお4月号と市ホームページでお名前を公表します。ご了承のうえ応募ください。



▲前回の最優秀賞受賞作品(高田昌範さんの作品)

中学生の税についての作文

平成29年度中学生の税についての作文(主催:税を考える週間実行委員会)に、荒尾・玉名地域の中学生から1,613編の応募があり、本市からは次の6人の作品が優秀作品に選ばれました。南九州地区納税貯蓄組合連合会優秀賞の荒尾第三中学校3年・菖蒲育美さんの作品を紹介します。

●南九州地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

『身近な税』
荒尾第三中学校3年 菖蒲育美さん

●荒尾市教育長賞

『租税教室を通して学んだこと』
荒尾第四中学校3年 垂水蓮寿さん

●玉名荒尾地区青色申告会連合会会長賞

『税金に支えられている世の中』
荒尾海陽中学校3年 佐々莉央さん

●荒尾市長賞

『税金のありがたさ』
荒尾第三中学校3年 井上健司郎さん

●玉名地区納税貯蓄組合連合会会長賞

『増税について』
荒尾第四中学校3年 藤本美沙希さん

●荒玉地区宅建業税務協議会会長賞

『税と向き合って』
荒尾第三中学校3年 山本莉央さん



荒尾第三中学校3年 菖蒲育美さん

南九州地区納税貯蓄組合連合会
優秀賞
『身近な税』

私は今、児童養護施設で暮らしています。
児童養護がどのような施設なのか、あまり知られておらず、私の友達からよく言われます。児童養護施設では、ごはんを皆で食べたり、買い物をしたり、病院に行くなど、普通の家庭と変わらない生活を送っています。施設に入った当初は、当り前の生活を送れていることに、何も感じていませんでした。
ある日、私は体調が悪くなった時、病院に行くことが、あり

ました。普通の家庭では、病院に行った際には、診察料や薬代など、お金を支払わなければいけないのですが、私が通院した際には、職員の先生が保険証を見せると、お金を支払うことなく、診察を受け薬をもらうことが、出来ていました。私は、疑問に思い、何故お金を払わなくていいのか、職員の先生に聞いてみると、私の診察代や、薬代は、税金から、支払われていることを、知りました。その他にも、私が送っている生活費が、税金に、支えられていることを知りました。最近では、消費税率が8%に上がり大問題になりました。
当時、私は小学生で、気にすることはなかったのですが、テレビや、ニュースなどのインタビューでは否定的な意見が多く、納税者という立場から見ると、とても大きな、ふたんに

えられ、普通の生活を送っている、今の立場から、考えると、税率が上がったことで、今の生活があるということを、実感します。
世間では税金を、取られるという表現を、聞くことがありますが、身近に、税の重要性、大切さを、感じられることが出来て、私が、将来、社会に出て、納税者になった時、税の大切さを、理解していることで、税金を、納められることに、喜びを、感じる事が、できると思います。みんな、支え合っている、この社会の中で、税の役割というもの、とても大きな存在になっています。全ての人が、少しの意識で身近に税の大切さというものを、感じる事ができます。
税の大切さを、身近に感じることが出来る、私達が、その少しの意識を伝えていく、役割を、担って、いきたいと思えます。